

公益財団法人 Uビジョン研究所

第4期 2019年度 事業報告書

～2019年4月1日から2020年3月31日まで～

1 事業の成果

今年度は、研修の需要が落ち込んだことと、認証「悠」取得に取り組んでいた施設が辞退することになった2つの影響が大きく、赤字決算となった。

一方で、寄附金は予算を大きく超えて増えており、Uビジョン研究所の事業に対する理解の広がりや支援に感謝するとともに勇気を頂いた。しかし、事業の赤字をカバーすることはできなかった。

第3期決算（2018年10月～2019年3月の6カ月間）は1,190,108円の赤字決算、第4期決算においては、2,573,586円（受取寄附金振替金を除く）のため、2期連続の赤字合計額は3,762,664円となった。

第5期である次年度で事業の展開を見直し、2期連続赤字合計額を少しでも清算できる収益を上げるべく努める。

認証事業は、認証5カ所を予定していたが4カ所（1カ所は認証取得を目指していたが、施設長が急逝したことによって継続できなかった）となり、予算を達成することができなかった。抜き打ち調査は予定どおり2カ所実施した。

講師派遣事業は、予算を大幅に結果と下回る結果となった。考えられる理由としては、社会的な課題となっている介護分野での人材不足で事業者は、派遣会社を利用しており、人件費に多額の費用が使われるようになったことや外国人雇用を進めるために海外への渡航費用、外国人職員の生活支援のために費用を大きく割かれたことが背景にあると思われる。大阪府立大学の教授が大阪府社会福祉協議会と協力して社会福祉法人の研修に関する調査結果を公表しているが、外部研修を受けなかった施設は50%を超えていた。

事業所が職員研修を削減したことによる影響が大きいと思われる。さらに、年間通して指導研修の依頼を受けていた施設と改善の進め方に対する考え方の相違により、2カ月のみ指導研修を実施したのみで辞退することになった。

また、年間研修を提案した施設4カ所が実施しなかった。今年度は、60.7%の達成となり大幅に予算を下回る結果となった。

セミナー事業は、オリンピックセンターを会場にUビジョン研究所が行い、参加者は平均35人、大学院の学生が2人参加（無料）し、マスコミ（週刊誌、新聞社）の参加もあり、有意義なセミナーとなった。しかし、収益では1日の参加のみなどに対応したことで予算を下回り、78%の達成率となった。

賛助会費と寄附金は、法人賛助会員10法人（前年度14法人）で前年度より4カ所減、個人賛助会員は40人で前年度より1人増（前年度39人）となった。法人賛助会員を増やすことで、講師派遣や認証取得につながるため、方法やPRについて検討し20年度の課題とする。

寄附金に関しては、「本間政雄悠々基金100万円」が設立され、これで9基金となった。経営が不安定になった時に使用できる基金は20,000,000円。これは危機管理費（南海トラフなど災害対応、感染症など新型コロナなどによる経営的な影響に対応する費用）として留保する費用である。目標額25,000,000円（職員数によって目標額は変化する。常勤2人、非常勤2人、有償ボランティア1人態勢の場合）であるため、今後、5,000,000円の基金を段階的（数年かけて）確保できるようにする。

今年度、認証審査を受審した社会福祉法人愛生福祉会特別養護老人ホーム豊寿園が「最優秀」を5項目で認定され、Uビジョンアワードを受賞した。それに伴い「中村尚史アワード基金」から副賞である250,000円が渡された。

寄附金は1,366,000円となり、予算300,000円を大きく超えた。寄附者のお1人に、2020年2月下旬にご逝去された99歳の女性がおられ、Uビジョン研究所の社会的に果たす役割に賛同してほぼ毎月のようにご寄附を続けてくださっていました。温かい思いに深く感謝し、寄附金を大切に高齢社会のために活用していきます。また、一般財団法人高橋貞子記念会から遺贈金300,000万円のご寄附がありました。ご意思を大切に広報誌発行に活用し、広報誌には、毎回、名前を掲載しています。さらに、12月に会社の社長さんから10万円のご寄附がありました。

出版事業については、数年、新しい出版物はないものの、CD-ROM、書籍等がセミナー開催時に売り上げたものとインターネットでの注文があり、わずかに予算を超えた。

調査・研究事業は実施していません。

施設評価事業は実施していません。施設評価事業の概要を見直し、次年度は力

を入れてPRしていく予定である。

【事務局】

職員は、認証の管理や実施における調整、PR、ファンドレイジングを試行錯誤しながら、公益法人としての役割を果たしていくためにミッションを持って仕事をしています。スタッフは全員女性で、女性が働きやすい職場環境作りを意識して、それぞれの能力にあった仕事をしていることはUビジョン研究所の強みです。

2 事業の実施に関する事項

公益財団法人に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	事業費の金額 (千円)
寄附金	一般寄附金		1,366
	本間政雄記念悠々基金		1,000
	受取寄附金振替額		3,572
賛助会費	個人賛助会費	40名	500
	法人賛助会費	10施設	800
認証事業	<ul style="list-style-type: none"> ・抜き打ち調査：1ヶ所 ・認証：4ヶ所 	生活クラブ風の村 7/28 中山ちどり② 9/16～18 祝の郷 1/15～17 豊寿園 1/29～31	3,661
講師派遣事業	年間契約で実施したのは、7ヶ所で25回（1回で2日から3日のところもある）	2019年4月7回（13日間）、5月2回（4日間）、6月2回（6日間）、7月2回（6日間）、8月2回（5日間）、9月3回（6日間）、10月4回（8日間）、11月1回（3日間）、12月3回（9日間） 2020年1月1回（2日間）、2月1回（3日間）	6,711
教育研修事業	トップマネジメントセミナー	会場：国立オリンピック記念青少年総合センター 2019年10月24日～10月25日	188
出版事業		書籍・CD-ROM	6

第4期（2019年4月1日～2020年4月1日）事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

以上